



月刊 おかじょうき

<http://www.okajouki.com/>

誌上句会 「0番線」

四ツ屋いずみ・奈良一艘 選

2023

9



題「数」 四ツ屋いずみ 選	4
奈良一艘 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	8
会員雑詠集「無人駅」	11
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 8月例句会	21
川柳吟行会「ぼ」	28
十和田たてがみ川柳会 7月句会報	32
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	27
Infomation	34～

# 0番線

-OKAJOKIZEROLINE-

## 選 題 「数」 四ツ屋いずみ

### 【佳作】

- 日めくりの3のあたりに夏がいる  
 マイナカードの拡大コピー課ですが  
 メメントモリ数に限りはありません  
 音符ジャラジャラと賑やかに終活  
 小数点少しずらして君の側  
 那由多までケンケンパツでゆくとこ  
 泣けるのはひいふうみいのふうのとこ  
 私語多い乱数表の三番目  
 コンビニでガラスの靴と数珠を買う  
 六根清浄ひまわり畑に身を晒し  
 素数が好きですか 寂しいのですか  
 夕顔も確か虚数でできている  
 0日目アイガー見える窓を拭く  
 燈明が茹り点滅繰り返し返す  
 三角も四角もぐによぐによ熱帯夜  
 5 WITHキスがしたくなる
- 佐賀県 真島 涼  
 愛知県 安藤 なみ  
 大阪府 岸井 ふさゑ  
 青森県 夏草 ふぶき  
 岡山県 しばたかずみ  
 徳島県 徳長 怜  
 大阪府 峯島 妙  
 愛媛県 松木 慎吾  
 愛知県 青砥 和子  
 奈良県 柳本 恵子  
 愛媛県 大内 せつ子  
 奈良県 ひとり 静  
 大阪府 宮井 いずみ  
 青森県 夏草 ふぶき  
 青森県 熊谷 冬鼓  
 青森県 須藤 しんのすけ

- 奇数ならギザギザになる別れ方  
 セミ飛び立ち地球2グラム軽くなる  
 夏になる2進数繰り返し返すキス  
 水の数式 八月を透けている
- 大阪府 峯島 妙  
 岡山県 小林 茂子  
 高知県 小野 善江  
 徳島県 徳長 怜

### 【秀逸】

- サーディンラン始まる海が沸騰す  
 あと二分平方根にぶら下かれ  
 0の尊厳 Im here
- 鳥取県 斉尾 くにこ  
 愛知県 青砥 和子  
 青森県 旅 男

### 【特選】

- 銀漢へ座礁くじらの50頭
- 大阪府 宮井 いずみ

【特選】体内コンパスに異常をきたした結果、座礁してしまう鯨達は天の川に登ってゆく。夏の夜空の哀切の群れが重く心に響く。【秀逸1】目には見えない0だからこ

### 選 評

そ、互いへの尊厳を忘れてはいけ  
 ないと訴える。Im here が効いて  
 いる。【秀逸2】√を見てみると、  
 その上部の横棒にはぶら下がれそ  
 うな気がしてきた。あと二分頑張

### 四ツ屋いずみ

れば問題も解決できるはず。【秀  
 逸3】数十億匹の鰯の群れの大移  
 動は、地球沸騰化への警告か。ヒ  
 トもいずれば大移動しなくちゃい  
 けなくなるのでは？…怖い。

# 0番線

## 選 一艘一良奈 「数」 題

【佳作】

- ナナツ迄数えた記憶手術台  
何本の牙を折ったらヒトになる  
たくさんの人に絡まりひとりぼち  
メンテナンスに限りはありません  
過分数的ひまわりの小言を聞く  
サーディンラン始まる海が沸騰す  
音符ジャラジャラと賑やかに終活  
私語多い乱数表の三番目  
満天の数え切れない自死の星  
番号がいたらきつと一人前  
5W1Hキスがしたくなる  
素数が好きですか 寂しいのですか  
奇数ならギザギザになる別れ方  
スキップの数だけひまわりが咲いた  
だとしても百足の足の最後尾  
三角も四角もぐによくよ熱帯夜
- 愛知県 中川喜代子  
秋田県 佐藤春子  
富山県 金瀬達雄  
大阪府 岸井ふさる  
青森県 田中 薫  
鳥取県 斉尾くにご  
青森県 夏草ふぶき  
愛媛県 松木慎吾  
愛媛県 吉原美佐  
青森県 まみどり  
青森県 須藤しんのすけ  
愛媛県 大内せつ子  
大阪府 峯島 妙  
佐賀県 真島 芽  
愛媛県 松木慎吾  
青森県 熊谷冬鼓

- 水の数式 八月を透けている  
ぎょうさんの時がうちあげられている  
六根清浄ひまわり畑に身を晒し  
ゆるさねばならぬ数だけ飛ぶホテル
- 徳島県 徳長 怜  
神奈川県 芝岡かんえもん  
奈良県 柳本恵子  
秋田県 佐藤春子

【秀逸】

- 正解はいくつもあつて季重なり  
四の五の言わせない黄昏の踵  
銀漢へ座礁くじらの50頭
- 愛媛県 吉松澄子  
静岡県 米山明日歌  
大阪府 宮井いずみ

【特選】

- OS尊厳 im here
- 青森県 旅 男

【特選】0とは何も存在しない素数。

つまり、存在しない生ということ。死というものの尊厳と自身の生き様死に様を「im here」という着地に仕立てた手法がとても斬新【秀

### 選 評

1「銀漢(天の川)へ座礁した鯨」の卓越した比喻と、50頭という数が微妙に現実味を帯びていてリアル【秀2】黄昏の踵のなんという凛々しさ【秀3】季重なりの良し

### 奈良一艘

悪しはケースバイケース。個々の正解もまたそうなのだろう。特選・秀句に共通している比喻と着地の鋭さ、巧みさ、斬新さを特筆しておきたい。

【0番線「数」：投句者54名】佐藤春子・石倉多美子・岸井ふさる・金瀬達雄・山田こいし・峯島妙・米山明日歌・柳本恵子・小野善江・高木まあこ・田中なお・旅男・岩根彰子・しばたかずみ・青野舞・吉原美佐・夏草ふぶき・薫・ひとり静・芝岡かんえもん・大西進・中島順子・須藤しんのすけ・宮井いずみ・鳴海賢治・まきこ・徳長怜

吉松澄子・斉尾くにご・城後朱美・大内せつ子・大谷のり子・安藤なみ・中川喜代子・みつ木もも花・松木慎吾・村上あつこ・葉閑女・真島芽・真島涼・真島美智子・真島久美子・岡村水無月・渡邊こあき・小林茂子・田中村井規子・守田啓子・坂本清乃・笹田隆志・まみどり・青砥和子・笠嶋恵美子・熊谷冬鼓・三浦蒼鬼

## カンテラ

かんとら

これを書き始めたのは8月7日。

台風がUターンしたり、あちこちに線状降水帯が発生したり、危険な暑さがあつちでもこつちでも続いたりで異常な天気が続いています。

地球温暖化が原因のようですが、これを招いたのは我々人間です。

このままだと人類が減びてしまうような気がして来ました。

プーチン君、戦争なんかしてる場合じゃありませんよ！

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

んだよね。披露じゃないよね」って、一度愛した男のことは忘れられないってことですよね…。

## B群

梅雨前線ぼきんと折ってコンポストへ	四ツ屋いずみ
波頭お持ち帰りはご自由に	ひとり静
うらぶれたラメに戻っちまう夜明け	きざらぎ彼吾吾
罪人の帰りを待ってるタチアオイ	小野五郎
スカスカになっても私のままでから	吉田州花
しんなりと今日の朝刊今日のサギ	旅 男
ふり向くとまた間違って動く影	柳本恵子
真上から見て人の形をしているか	三浦蒼鬼
真っ白な壁にぐさりと刺す話	まきこ

まきこさん、その「話」やつぱり刺さりましたか。その「話」って、黒い壁にも青い壁にも赤い壁にも刺さらないんだよね。どうして「真っ白な壁」じゃないと刺さらないんだらう。ところで、刺さると血が出ますか？あれ？この句って、「話」を刺すんじゃなく、何かを「真っ

## A群

今日も又半音ズレて蚊帳の外	村上あつこ
車椅子きょうは優しい風になる	葉 閑女
決断の桃はつるりと自白する	芝岡かんえもん
泥だんごいくつ作れば抜けられる	斎藤泰子
魂は旅に出てます結跏趺坐	瀧尻善英
空色のカセットテープ遺される	熊谷冬鼓
終わったと思うこれからだと思う	守田啓子
捨ててきた男に似てる猫ひろう	米山明日歌

米山明日歌さんは、「男」を「捨ててきた」のですか。「捨てられる」と「捨てる」、どつちが辛いんでしょう。「捨ててきた男に似てる猫」を「拾う（漢字だとこれでいい

白な壁にぐさりと刺す」お話のこと？

## C群

京都で男前いうたら、やっぱしんのすけさんやね。	須藤しんのすけ
黄昏を煮るか焼くかで揉めている	安藤なみ
新人のくせに大きな疣がある	田久保垂蘭
阿修羅像と猪木のアゴがタッグ組む	夏草ふぶき
唐揚げが唐揚げだった頃の海	奈良一艘
コーヒーが苦い真昼を描いたのに	宮井いずみ

須藤しんのすけさん、この句ずいぶん長いんじゃない？26音だよ。「」もあるし…。ところでこの句の「しんのすけさん」で、まさか自分のことじゃないよね。そう思って、「京都」「しんのすけ」をキーワードにネット検索したら「映画感想」系「オケクリエイター・しんのすけ」というひとがヒットしました。1988年京都府出身で時代劇ドラマ『水戸黄門』の監督を務めたひとだって。残念ながら写真を探せなかったので「男前」かどうかは不明です。この人かな…、違うかな…（汗）

安藤なみさん、誰と揉めているんですか？煮たり焼いたりした「黄昏」をどうするつもりですか？もしかしたら、ビールをつまみにでもするのか？煮た「黄昏」と焼いた「黄昏」、全く味が違いそうですね。あ！「黄昏焼き」って美味そうな気がしてきました。

田久保亜蘭さん、「疣」って『①皮膚上に突起した角質の小さな塊。表皮が限局的に増殖し角質層の肥厚をもなつて円形または乳頭状の扁平小隆起をなすもの。原因の多くはウイルスで、伝染することもある。②物の表面に現れる小突起。』（広辞苑第七版）のことだね。「疣」は伝染するのか…。知らなかった。新人の「疣」がベテランに伝染すると危険だつてことかな…。これって、川柳界のこと？

夏草ふぶきさん、この句の「猪木」って、「アゴ」も一緒に書いてあるからプロレスラーだつたアントニオ猪木さんのことでしょ？「阿修羅像」は顔が三つあつて手が六本ある興福寺の国宝が有名。この句のとおりになつたら無敵だねえ。にしてもふぶきさん、変なことを考えますね（汗）

奈良一艘さん、「唐揚げが唐揚げだつた頃」って、「唐揚げ」は今「唐揚げ」じゃないつてこと？「唐揚げ」って「食材に小麦粉や片栗粉を薄くまぶす程度で、衣をつけずに高温の油で揚げること」ですよ。英語では「フライ」だ。あ！もしかしたら「唐揚げ」は今「フライ」になつちやつてるつてこと？「唐揚げ」と「フライ」は違つてこと？でさ、「唐揚げ」と「海」って関係あつたの？昔の海はきれいだったけど、それと関係ある？うーん。

宮井いずみさん、「コーヒー」が好きそうですね。しかも、苦みのコーヒー。コーヒーにはまつていた昔の私が飲んでいたのはモカ・マタリ。酸味のコーヒーでした。あ、関係ないですね。この句は、「コーヒーが苦い」＋「真昼を描いたのに」なのかな？それとも「コーヒーが苦い真昼を」＋「描いたのに」なのかな？それと、下5の「描いたのに」の次に何かのフレーズがあつて、それが省略されているはずですが、どんなフレーズだったのかな？読者にいろんなことを思わせる句に、わざと仕立てたのかな？

おかじょうき川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅8月間賞

穴であるひとの形なりではあるけれど

きそらぎ彼句吾

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

ユウツな朝だどうするべ切り日  
食欲減退畑でトマト丸かじり  
見回りの西瓜にカボチャにんまりと  
文月の訃報・ただ合掌  
梅一キロ採った日からの頭痛感

先月号のお気に入り  
湿布貼らなきや桜並木でいられない  
きさらぎ彼句書  
同感です

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

熱中症姫の小言は痒み止め  
甘納豆舐めて齧つて生きている  
トリチウム地下で蠢く桜田門  
成長を止めるアトムは自虐的  
回転ドア貼り紙見れば故障中

先月号のお気に入り  
マゼンダをぼとり駝鳥の人生に  
岩根彰子  
駝鳥の人生だけでなく、カバ男にもマゼンダをぼとりと  
落としてほしい

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

ロリータが似合う私の長い影  
キヤです時々夢を見ている  
京都で男前いうたら、やっぱりしんのすけさんやね。  
破壊力ナンバーワンのくすり指  
そういえばファーストキスは高一でした

先月号のお気に入り  
力瘤今日のごぼうびワンカップ  
坂本清乃  
毎日を生きているってこつこついうことなんですわ、きつと。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

見栄じゃないちよつと私はえ・ふ・り・こ・ぎ  
愛をあげすぎてダメ男をまた作り  
魂は旅に出てます結跏趺坐  
もののふの威勢ぐらいはちよつと持ち  
あの頃はみんなラムネ玉の子ども

先月号のお気に入り  
ポキポキポキ何度も折れているココロ  
吉田吹喜  
心が折れるときは、骨と同じく、ポキッと音がるんですわ…

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

決断の桃はつるりと自白する  
一小節かぶれて唄う八代亜紀  
アンパンはずつとあなたを待っている  
わたくしは誰が食べても甘納豆  
本番前ウソが背伸びを始めてる

先月号のお気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

ライン読む娘二人に気を使う  
心配無用一言だけの娘のメール  
言い負けて娘の世話になるいつか  
ストレスを溜めずに母を看るつもり  
好きなことやり終え母の晩ごはん

先月号のお気に入り  
何も彼もほっぽり出したい時もある  
坂本清乃  
同感、仏様のお茶も花の水も変えたくない時。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

黒ぬりの所で確か産まれたの  
薬物乱用海から溺れ出す  
再審にうちのアジサイ色が無い  
新人のくせに大きな疣がある  
教科書通りにやったら詰まらない

先月号のお気に入り

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

むずかしい事なんてないただ寝るの  
暗がりに慣れなさい見えてくるから  
たまに猫になりたいときもあるのよ  
沢山の星が訴えおちて墮ちて  
目を閉じたまま発射するいけずな国

先月号のお気に入り  
私だけいつも半音スれていた  
村上あつこ  
愛着感じます。ありがとございます。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

しんなりと今日の朝刊今日のサギ  
あつたあつたフランスにもトタン屋根  
縁も円も影響薄し竹槍ニッポン  
成田の青田ニッポンを着る心地  
こうなれば皆で食べよう放射能

先月号のお気に入り  
死ぬべきか亡くなるべきかYってる  
YがZ妙。Y音をKしてZ命迄。  
奈良一艘

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

愛でている少し曲がった指だけど  
消える時愛は夕焼けじゅつと言う  
失敗の山にクラクラめまいする  
どうしようそうだジャックの豆のつる  
辛いならどこ吹く風を送りましょう

先月号のお気に入り  
音量が高くて胸に響かない  
何でもやり過ぎはダメよねえ。  
渡邊こあき

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

食べ物は残すなとミミズ千匹  
身勝手な解釈でした雲が散る  
ぼんやりと蟹の甲羅を剥いてます  
見失うこと多い夏の日の午後  
詰め放題百円でしたイボころり

先月号のお気に入り  
復習がいやならバスに乗りなさい  
同感もいいたくありません。  
葉閑女

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

しっかりと水に潜らせればいいの  
挟まったまんまこじれてゆく話  
波頭お持ち帰りはご自由  
草一族の声が大きい  
戦争の正義不正義草いきれ

先月号のお気に入り  
フレイルに抵触してる春の脚  
わたしの場合、春の脚どころじゃないと思う。  
守田啓子

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

あみだくじハズレを引いてから砂漠  
阿修羅像と猪木のアゴがタッグ組む  
挨拶が帰ってこない境界線  
飴玉を舌で転がすダブル不倫  
アンパンの中に仕込んだ手りゅう弾

先月号のお気に入り  
寸胴鍋いつも私より元氣  
うちの寸胴さんも高齢なのにまだまだ元氣です。  
吉田州花

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

起訴事実は以上、人を信じた罪。  
唐揚げが唐揚げだった頃の海  
袱紗ふと不埒な笛を吹きまくる  
踊りたまえ今人生の最終章  
死ぬ・死ぬ・死ぬ・泣くメビウスの輪

先月号のお気に入り  
無呼吸症候群あさり一夜沈めたり  
ワタクシノ砂ハジュウブン吐キオエタ  
柳本恵子

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

熱きお茶真夏の座敷から便り  
肅粛と電気バリカンは呟く  
スイッチオン メリーゴーランドが離陸する  
ハートに刺さった貴方がくれた白い空  
ラプソティインブルー焼き鳥の先つぽの黒

先月号のお気に入り

まぎわ【まぎわ・青森県青森市】

真っ白な壁にぐざりと刺す話  
生きるって今更何よ夕陽言う  
エイエイヤーと騒ぎゆるりと日が暮れる  
星空と歌う今日の鎮魂歌  
君が代三唱またまた年金日

先月号のお気に入り  
さくらの樹ぼつん付度しないもん  
らしくていいね。その状況にわたしも賛成です(笑)  
守田啓子

### まみどり【まみどり・青森県黒石市】

人間をやめたいくらい重い夏  
一粒の雨の攻撃だとしても  
自分でも支えきれない皮下脂肪  
断捨離の決心までも鈍らせる  
干からびて再生を待つつもり

先月号のお気に入り  
寸胴鍋いつも私より元氣  
吉田州花  
そっかあ、最近ほ片手鍋ばかり使っていたからなあ。

### 宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

コーヒーが苦い真昼を描いたのに  
柴犬のしっぽパタパタ数検Ⅱ  
村中のムササビ無音無味無臭  
君のこと書きたい水と混ざりたい  
空蟬の膝の角度のとくさ色

先月号のお気に入り  
ポコポコとなんでなんでが現れる  
ひとり静  
こどもじゃあるまいしと思うのですが、疑問って本当に  
ポコポコ湧いてくるんですね。

### 三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

真上から見えて人の形をしているか  
杲然と風の行方を探してる  
嘘ひとつ吐いたら止まらないゲップ  
一話完結その先にある迷路  
無重力から旅に出る紙の雪

先月号のお気に入り

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

変身願望今日はスパーマン  
かすみ草ひまわりにはかなわないな  
負ける気がしないジャンケンきつと勝つ  
今日も又半音ズレて蚊帳の外  
色あせて混濁してる高齢期

先月号のお気に入り  
絆創膏しか地球に貼れなくて  
ひとり静  
何とかこの地球を救いたいが、私には絆創膏すら貼れないのは・・・

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

呼び掛けに反応しない合歓の花  
火曜日の川のほとりの紙芝居  
惜しげなく教えてくれた北の風  
センセーがぼつん鞆がぼつん  
終ったと思うこれからだと思う

先月号のお気に入り  
神田川とか三丁目の夕日とか  
吉田州花  
私の体の半分は銭湯と駄菓子屋と紙芝居でできているっ  
ぼい。

### 葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

疑問符のようにギギツと稲光  
大作は岸上文雄はき・し・だ  
車椅子きょうは優しい風になる  
父の忌に孫の話で盛り上がる  
突き抜けて二十七回忌の静寂

先月号のお気に入り  
やつれてないシャープになったと言っておく  
辻井洋子  
シャープになった洋子さんに会いたいです！

### 柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

曲がってるキューリの中の一本気  
たとえばの話手の中の蛍に  
ふり向くとまた間違つて動く影  
幸せは地味降水確率90%  
少数点以下の幸もかき集め暮らす

先月号のお気に入り  
走ったら落としてしまう家族  
旅男  
丈夫で壊れやすい家族。今日からやさしくしましょっか。

### 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

この次の満月集合場所はここ  
スカスカになっても私のままだから  
ねこじやらし笑いごとでは済まぬミス  
日が暮れる七月の雑踏へ急ぐ  
開店は十時日向の匂いにならなければ

先月号のお気に入り  
一番目の性で静かに生きている  
須藤しんのすけ  
このまま行けば三番目の性もありそう

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

いちじくのひこばえそり風吹く  
初とんぼアップデートは絶え間なく  
逝く日まで流れる川であるように  
宝石をつむ夏の日のラズベリー  
蜘蛛の糸炎天地獄に濁流地獄

先月号の  
お気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

ご先祖を引き連れ青い森探検  
噴水のでっぺんにあつた正解  
欠席裁判A Iのミライ  
チルド室いっぱい大暑のクリオネ  
梅雨前線ぽさんと折ってコンポストへ

先月号の  
お気に入り

空き缶の俺がカラコンロンと泣く 芝岡かんえもん  
そのカラコンロンがよい響きなんですわ。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

黄昏を煮るか焼くかで揉めている  
この指にとまれトンボも UFOも  
消火器にはがきを入れたことがある  
三食を抜いて気分だけは軽い  
夢一夜空に花火を貼りつけて

先月号の  
お気に入り

クジラの塩をあびてミジンコになりそう 田中 薫  
ミジンコ、なつかしい！

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

業務用バナラアイスと肉球と  
ボクサーパンツ何ぞ等蟬時雨  
スパルタにするわ青紫蘇こぼれ種  
筋肉フェチの青筋フェチのテツコさん  
ウーバーイーツに履かせるペチコート

先月号の  
お気に入り

ストローで潜水艦を釣るなんて 安藤なみ  
大と小の取り合わせと、下五のなんてのぶつきらぼうが  
良いと感じました。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

レシートに記載されてる蟻り  
金ゴマの弾けたような人でした  
桃色の嘘でわたしを丸めてる  
偶然を待ち伏せしてる梅雨の午後  
捨ててきた男に似てる猫ひろう

先月号の  
お気に入り

サーカスが僕の背骨を降りてくる 三浦蒼鬼  
私にも、時々おりてきますよ。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

私を呼んでいるのは炊飯器  
私を呼んでいるのは電子レンジ  
私を呼んでいるのは洗濯機  
ピンポン宅急便が呼んでいる  
ピンポン神社の寄付が来ましたよ

先月号の  
お気に入り

長女的発想だなあどの指も 斎藤泰子  
長女的発想がある、ある。私も長女です。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

アレチノギクに道路使用許可  
里程標にからみついている早乙女花  
アジサイが割れて吹き出す熱帯夜  
罪人の帰りを待つてるタチアオイ  
生け花の一隅に咲くダンマパダ

先月号の  
お気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

浴びるより風に乗りたい鳥になる  
友の親も逝って世代的悲しみ  
あの人にフラれたのかな妻に訊く  
霊長類って知つとる猫に訊く  
亡母の背は少し伸びたか七回忌

先月号の  
お気に入り

考えを変える言い訳考える 斎藤泰子  
そして考えを変えて元の考えに戻る言い訳を…。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

イニシャルをなぞる追憶のさざ波  
そそくさひき潮振り返りもしない  
内出血だから気づかれない筈よ  
うらぶれたラメに戻っちまう夜明け  
ダッシュ付きだった手にしたものの全て

先月号のお気に入り  
中八上十二し止め句跨りですが何か？ 須藤しんのすけ  
反抗期真っ最中なのうちの子(汗)とみさえ

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

スナフキンのことばにハッと目が覚める  
あやまちを誰も責めないどんぐりこ  
泥だんごいくつ作れば抜けられる  
私たちつていううふふな時間  
あぶないあぶない情に流されそうになる

先月号のお気に入り  
待つ事が甘美であれと言うバス停 夏草ふぶき  
免許返納したらきつとこの句を思い出すでしょうね

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

「最近どう？」って近所の猫が訊いてくる  
あれやこれS字フックに吊るしてる  
鯛の目でタイマー3分セットする  
傍線の赤が夜更けに立ち上がる  
空色のカセットテープ遺される

先月号のお気に入り  
その時は使ったもりの橋ふたつ 米山明日歌  
橋までかけて用意周到ですね

むさし【むさし・青森県蓬田村】

観音様に言い寄っている写楽A  
五十年春夏秋冬花曜日  
波音が不意に聞こえる股関節  
プーチンの尻尾と蹴爪千切りに  
妖怪の列に並んだちびまる子

# 数を確かめる

8月5日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(9名)

きさらぎ彼句吾・熊谷冬鼓・渡邊こあき・守田啓子・野沢省悟・  
須藤しんのすけ・むさし・笹田隆志・奈良一艘

▼投句者(20名)

米山明日歌・岩根彰子・吉松澄子・金瀬達雄・安藤なみ・旅男・  
城後朱美・夏草ふぶき・柳本恵子・芝岡かんえもん・田中薫・  
宮井いずみ・鳴海賢治・葉閑女・郷田みや・まみどり・まきこ・  
村上あつこ・村井規子・坂本清乃

おかじょうぎ川柳社 8月例会

席題『ひやり』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

ススキノを転がる首のない遺体 　　むさし  
 コンビニのレジのヒグマの爪の痕 　　むさし  
 新月と契る駱駝を嘲笑う 　　　　　奈良一艘  
 廃校の廊下に佇っている気配 　　　　熊谷冬鼓  
 のこぎりとスーツケースが売れている 　守田啓子  
 女から不意にカミソリの刃のほい 　　むさし  
 フェロモンがにじむアイスの当たり棒 　野沢省悟

口紅を引くのつぺらぼうになるまえに

野沢省悟

見つめないで穿いているんです

野沢省悟

首すじにポトリ忘れていたことば

渡邊こあき

【秀逸】

「ありがとう」をひやりとキスで返事する 　　笹田隆志  
 見守っている自然死というものを 　　　　守田啓子  
 呼びかけに反応もせず母は鳥に 　　　　守田啓子

【特選】

いつの日かこうなる一人っきりの朝ぼらけ 　　奈良一艘

『誰かを独りぼっちにするのも辛いし…』

席題『ひやり』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

首すじにポトリ忘れていたことば 　　　渡邊こあき  
 りんご飴踊りの輪から帰れない 　　　須藤しんのすけ  
 新月と契る駱駝を嘲笑う 　　　　　奈良一艘  
 ススキノを転がる首のない遺体 　　　むさし  
 のこぎりとスーツケースが売れている 　　守田啓子  
 いつの日かこうなる一人っきりの朝ぼらけ 　奈良一艘  
 饒舌のぶよぶよ感を悟られる 　　　　奈良一艘

両腕で自分を抱いてもなお寒い

きさらぎ彼句吾

呼びかけに反応もせず母は鳥に

守田啓子

口紅を引くのつぺらぼうになるまえに

野沢省悟

【秀逸】

芍薬が洩らしそうですあの秘密 　　　　渡邊こあき  
 潮騒を生んでしまった捨て科白 　　　　きさらぎ彼句吾  
 女から不意にカミソリの刃のほい 　　　むさし

【特選】

見守っている自然死というものを 　　　　守田啓子

『自然死を見つめている怖さにぞくり。』

### 宿題『騒ぐ』

青森県逢田村 むさし選

#### 【佳作】

ゆづ結婚コメントよりも相手です  
騒ぐんじやない母さんは今昼寝中  
火事だと叫ぶんだ熊と出会ったら  
太陽と海と水着とサザンを混ぜる  
お似合いですと騒がしい試着室  
家中の家電喋りだす夜明け  
侘しくはないかとカラス寄ってくる  
雄たけびを上げているのは私です  
口角のあたりで騒ぐ「サヨウナラ」  
毎日が騒音立てて過ぎてゆく  
何だかんだと夢の中まで騒がしい  
お静かにムンクの「叫び」の前ですよ  
ワイングビィ静かな夜の胸騒ぎ  
もう二度と騒ぎを起こすな顔認証

渡邊こあき  
村上あつこ  
宮井いずみ  
須藤しんのすけ  
城後朱美  
宮井いずみ  
熊谷冬鼓  
熊谷冬鼓  
米山明日歌  
まきこ  
村上あつこ  
葉 閑女  
まきこ  
笹田隆志

八月六日を内部告発する案山子  
女子会の1人はきつとお岩だ  
節穴に騒騒しいとカットバン  
ゲリラ雨哀しみつれて耳に降る  
シユプレヒコールがガンガン響くラムネ瓶  
騒いでいる間に桃が熟れました

笹田隆志  
まみどり  
郷田みや  
柳本恵子  
奈良一艘  
郷田みや

#### 【五客】

置き去りにされるドン・キホーテにされる  
朝露が次々音符になつていく  
シャックリが止まらぬ知恩院の廊下  
騒いでる単三電池でおじさんで  
はしゃぐだけはしやぎなどうせしやぼんだま

柳本恵子  
夏草ふぶき  
岩根彰子  
野沢省悟  
きさらぎ彼句吾

#### 【人位】

花火だと思つたら原爆だった

野沢省悟

#### 【地位】

潮騒はとても正しい死の匂い

奈良一艘

#### 【天位】

バタ足でゆこう短い夏だもの

きさらぎ彼句吾

『バシヤバシヤ水を蹴立てながらゆくんだね...』

### 宿題『奇』

青森県弘前市 奈良一艘選

#### 【佳作】

分け入っても分け入っても好奇心  
奇数だけ集めて一年編んで居る  
明日があるだなんて思っているアナタ  
テキトーでいいから横顔は奇数  
肋骨がいい音出して快眠中  
生き下手で死ぬまで奇数です私  
虹色の風の便りは奇々怪々  
ハート形の目でみつめてはいけません  
阿修羅像とにらめっこして勝ちました  
おとなりもA型卯年水瓶座  
奇しくもそれはカモメになった時刻です  
柳揺れ百物語が始まった  
横丁の壁に奇妙な絵があつた  
横書きの辞林真夏のモグラ塚

吉松澄子  
坂本清乃  
野沢省悟  
吉松澄子  
夏草ふぶき  
村井規子  
笹田隆志  
野沢省悟  
金瀬達雄  
葉 閑女  
守田啓子  
渡邊こあき  
鳴海賢治  
葉 閑女

#### 【五客】

へアーチェックに来はるオランダ獅子頭  
奇人変人他人悪人あそび人  
明け方の長電話からメリー・ジエーン  
わたくしがこんな男といる奇跡  
でるとこに出れば奇麗な骨の音

岩根彰子  
むさし  
須藤しんのすけ  
米山明日歌  
米山明日歌

#### 【人位】

結婚や奇妙な餡をまだなめる

芝岡かんえもん

#### 【地位】

穴なのよ人の形はしてるけど

きさらぎ彼句吾

#### 【天位】

枯野にてモグラ叩きの詩人たち

金瀬達雄

『もしかしたらそのモグラは私かも...。上手いねエ、参ったね。』

# 宿題『自由詠』

青森県青森市 野沢省悟選

## 【佳作】

肩紐がヤバイ色です…今日は何の日？ 須藤しんのすけ  
 生きていく証にクーラー買い換える 熊谷冬鼓  
 後期高齢者のにパピプペポを競う 奈良一艘  
 どうふ崩すとさどうしても猫語 奈良一艘  
 おつもりにしよう紙芝居も果てた きさらぎ彼句吾  
 煩惱にまみれ牛蒡を立てている 守田啓子  
 ひと息で消えてしまった「ダイジョウブ」 郷田みや  
 サンズイをつけて無かったことにする 米山明日歌  
 あくびから次々と車線変更 田中 薫  
 アジサイが歌い続けて眠れない む さ し  
 腹筋の割れたあたりで待ち合わせ 米山明日歌  
 引き分けのあとは長い熱帯夜 葉 閑女  
 水を飲む由緒正しい太り方 まみどり  
 猛暑日の真昼の空の殴り方 む さ し

欠点を湿らせておく滑り止め

民草が斜陽の国で立ち尽くす

イケイケの人は見てない膝の裏

いきつけの霊園で観る歌舞伎

キュウリの中にぎつしりと積乱雲

恩を売るわけではないがみずすまし

## 【五客】

ちようどいいからだはちようどいいからだ

そのスーツケースの中はきつと夕日

解けるのはジグゾーパズルだけの象

まだ何もしていないのに止められる

ラッキーセブンの翌日届く召喚状

## 【人位】

この頃は動物たちに無視される

## 【地位】

んが揺らいだら百合ではいられない

## 【天位】

水換えてメダカの数を確認める

↑ 減ったメダカは、今日のアナタか明日のボクか。

郷田みや

金瀬達雄

熊谷冬鼓

笹田隆志

夏草ふぶき

鳴海賢治

須藤しんのすけ

守田啓子

笹田隆志

まみどり

笹田隆志

金瀬達雄

柳本恵子

きさらぎ彼句吾

柳本恵子

奈良一艘がとことん深読む

# 深艘心理

寝つく時間を知るためのまんじり

旅男

(会員雑詠集 無人駅7月号より)

無人駅の投句は五句提出なのが決まり。その今回の旅

男さんの連作らしき五句には、

考え考え練るに練る浅はか

一泊に三万かけて眠られず

体内磁北が常識に微々たる

他一句があったので、最初は一泊三万という安くはない

旅の夜に落ち着かず、宿で微々りまくっている句なのか

と思ってしまったが、どうもそんな簡単な川柳ではない

のではなからうか。寝付く前に色々考えてしまったのだ

らう。例えば「人間としての、生き方、死に方」などと

いう人生哲学や、自身の今までの生き様はこれで良かった

たのかとの自問自答。等々掲句の「寝付く時間」とは、

まさに人生が終わる臨終の時であり、その時間を迎える

までの自身の生き方を、まんじりともせずと考えている。

迷ったり、寄り道をしたり時間を無駄にしているのでは

ないかと苦悩している。

実を言うと、こんなハンカクサイ(阿呆な)私も少し

悩んではいるのだ。有能で優秀な、社会にもっと必要と

されている年下の仲間が、私よりもどんどん先に逝って

しまう現実に戸惑っている。そんな時は、こう考えて自

分を納得させている。私には、まだ人の為にやらなけれ

ばいけないことが残されていて、それを終えるまでは生

かされているのだと。

そんな悩みに、古代ローマ時代の哲学者、ルキウス・

アンナエウス・セネカは数々の名言を私達に残している。

例えば、

○水時計を空にするのは、最後の一滴ではなく、それま

で流れ落ちた全てである。

○いかに生きるかを学ぶには全生涯を要する。

○毎日を最後の一日だと思って生きよ。

○愛されることを望むなら愛しなさい。

これらはほんの一例だが、紐解いてみるのもどうだろう。

にしても、深読みのし過ぎだろうか…ふっふっふ。

# 川柳吟行会「ぽ」課題『歌う』

暑つつい！70年の人生で、こんなに暑い夏は知らない。争いやコロナ禍など、世界が不穏な空気に包まれるなか、川柳書いてていいのかなと思う時もあるけれど、気を取り直してポチポチやっている。

さて、6月24日に「ぽ」の会と「カモミール句会」の合同吟行会を行った。場所は八戸市の歴史的建造物の「更上閣」。「ぽ」の会メンバー以外の参加者もあり、大いに盛り上がった。その時の様子を「カモミール7号」に少し書かせてもらった。「楽しい」が伝わればいいな。7/29記（笹田かなえ）

【9点】特×4・佳×1

歌いだし遅れて違う道になる

渡邊こあき

【彰子】人生を歌っている。人生は歌いだしで決まると

る。皆な哀しい歌を選びそうだ。私の今はThe Street Sliders「Baby, 途方に暮れてるのさ」です【朱美】コメント「自分のこれからを歌うなら、美空ひばりの柔かな【柳本恵子】新しいテーマソングで再出発。素敵ですね。

【6点】特×1・佳×4

水曜の水はとにかくよく歌う

須藤しのすけ

【五郎】「水」に深い意味を持たせた表現【朱美】水曜日は、唯一のカフェタイム。リラックス【善江】感覚的に素敵です【啓子】発想が楽しい。でも「月曜の月はとにかくよく眠る」などと動きますね（汗）【隆志】なんで水曜の水なのか、可笑しくて可笑しくて。

【5点】特×2・佳×1

父さんの鼻歌だるうデデッポー

守田啓子

【吉見恵子】キジバトの鳴き声の「デデッポー」を「父さんの鼻歌」に擬人化していて、ユーモアのある句【かなえ】デデッポーのあの素朴な鳴き声と父さんの鼻歌をくつつけたところに、ほのぼのとした空気が生まれた。素直さに共感【冬鼓】デデッポーで思い出したお父さんはちよつと音痴気味？（笑）

は非常に深い作品。因みにA子の人生はひばりの角兵衛獅子で決まった【柳本恵子】歌いだしはとても緊張しますね【規子】私は産道を出てから二番の歌い出しに遅れてしまつてこんな人生【さち】ギリギリ早生まれのチビ、引つ込み思案で遅れっぱなし。数学でまた出遅れ、周回遅れでもいいやと開き直つたところを回想しました【文首】人生は歌い出しが早かろうが遅かろうが、途中でハモろうが皆違う道なんだと気づきました。

【6点】特×2・佳×2

これからのテーマソングを模索する

渡邊こあき

【与生】題が「歌」ではなく「歌う」と動詞なので歌っていないこの句は減点。それでも特選に押す。模索が済んだ後歌つたのだ、きつと。訊かれてないけどワタクシのテーマソングは「ロッキーのテーマ」です。つて歌詞が付いてない【達雄】全ての人への問いかけともこれ

【5点】特×1・佳×3

ゴッホの「ひまわり」混声合唱団

吉見恵子

【ふぶき】勢いのあるタッチで描かれたゴッホのひまわりが歌う、しかも混声合唱だなんて言いえて妙ですね。とても面白い句だと思いましたが【柳本恵子】ひまわり畑の一本一本が生きて唄っているようですね【いずみ】あつち向いたりこつち向いたり色が違うが統一感があつてまさに混声合唱団【しのすけ】圧倒的なパワーは性別を超え混声に紛れる。

ウグイスと輪唱 ただ今充電中

熊谷冬鼓

【朱美】まさに今日の私のハイキング。心が浄化されて、身も心も軽くなります【吉見恵子】句の仕立てがスムーズで、無理がなく共感できる【啓子】鳥と歌いたい時もある。リフレッシュできたらもう一度【さち】がんばって笛鳴きを卒業。ゆつくり休みましょう。

大合唱楽しいものに鍵の束

小野善江

【こあき】楽しいものに繋がる鍵の束、私も欲しいです。楽しいことをみんなで一緒に！【彰子】宿直の先生の鍵の束に何故か憧れがありました【州花】本場の鍵は玄関と金庫の二つしかないが楽しいことに進む鍵はある【文

音】大合唱と鍵東が「楽しいもの」で繋がっている。鍵東の比喩が解けないですが面白いと思った。

【4点】特×2

ズッキーニの輪切り 二階の不協和音 熊谷冬鼓

【善江】まさしく今日の我が家の風景と一致いたしました【州花】何の関係もなさそうなズッキーニと不協和音だが、この句から離れられない。

【4点】特×1・佳×2

雷鳴を消せマツケンサンバ歌え 守田啓子

【いずみ】異常気象にうんざりだ。被災地はたいへんだがこの句のように、空元気で明るく向き合いたい【彰子】6月から8月何回マツケンサンバを歌うのか【かなえ】この勢いの良さに思わずpoo! マツケンサンバは頼もしい。

バリトンで入道雲が歌うのよ 笹田かなえ

【冬鼓】入道雲を見てバリトンの美声の主を思う。そびえ立つ夏の入道雲から近づきがたさや憧れの存在と感じた【与生】ソプラノ、テノール…やはり入道雲はバリ

が好き。誰かが誰かを思ってくれていると思えることが歌でしょう【規子】だれかが誰かを思っが惹かれる。

「星を見に行かないか」って誘われる 須藤しんのすけ

【隆志】こんなふうに歌いながら誘われたら、誰しもワクワクしながらついていくはずです。うまい【いずみ】こ

う暑いとロマンチックな歌でも聞いて夢をみていたい。

忘れたかった歌いたかった街はずれ 笹田かなえ

【まあこ】複雑な女心がよく表現されている。街はずれは孤独感でしょうか【五郎】連想の余地を残した作り方

【2点】特×1

フォーユーを歌う幸せ薄い姉 城後朱美

【しんのすけ】フォーユーは高橋真梨子の「for you…」。

姉妹それぞれの幸せは濃い薄いで量れない。それぞれ暖かく感じる。

白玉を浮かべハミング夏ひとひ 福田文音

【啓子】自分と大切な方のために。日常のちよつとしたところに幸せを感じられるっていいな。季節感もあつていい。

トンがあうのだろうか【ふぶき】入道雲の様子からバリ

【4点】佳×4

怖いもの何も無かった東京ブギウギ 岩根彰子

【州花】東京ブギウギと聞いただけで今よりもつと能天気だった頃を思い出す【ふぶき】東京ブギウギのはやり歌を歌いながら肩で風を切っていたのでしょうか、目に浮かびます【かなえ】「東京ブギウギ」のパンチ力は武器ですね【しんのすけ】飛び抜ける明るさ。まだまだこれからだ。

私らしく雨の日の晴れの日の独唱 吉見恵子

【善江】そう、私らしく独唱するしかありません【まあこ】真摯に生きようとすると作者の姿勢が見える【こあき】良い日も悪い日も自分らしく暮らしていければ【達雄】共感句。曇りの日も独唱ですよね。

【3点】特×1・佳×1

ストリートピアノだれかが誰かを思っ 柳本恵子

【文音】歌えなくても、ピアノを弾けなくても聴くこと

【2点】佳×2

そば枕干す ばあちゃんが歌い出す 滋野さち

【こあき】ばあちゃん子でしたか。私もです【達雄】祖母を思い出す。懐かしい風景です。

ややくそのズンドコ節で梅雨明けで 宮井いずみ

【まあこ】その気持ちわかります。同感です【冬鼓】ズンドコ節は梅雨払いの歌でしたか。ややくそとは愉快。

ヨイトマケしか歌わないジャズバンド 笹田隆志

【さち】時代遅れでもいいじゃない。生きることに一生懸命があつた【五郎】ジャズの原風景を表わした。

【1点】佳×1

秋までにとりの石と歌うハレルヤ 吉田州花

シャウトするパプリカ女子力が何さ 宮井いずみ

サイギサイギ五体投地をやっている 小野五郎

風のまち口をひらけば北帰行 笹田隆志

# 十和田たてがみ川柳会七月句会

○日時 7月15日(土)  
 ○会場 十和田労働福祉会館  
 ○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳  
 ○投句者 磯島雅男・城後朱美

## ■席題 『ぬか喜び』 高田 幸柳 選

【平抜き】 年金が少し増えてるすぎ焼きだ 久保あざみ  
 呆けてゆくぬか喜びも他人事 斉藤 蛙井  
 マイカード エサに見透かす薬入り 村上 昌子  
 株上がる欲出し売らず急降下 福田 芳記  
 左遷地のぬか喜びを吸う空気 木村奈生美  
 岸田さん支持率アップすぐダウン 福田 芳記  
 当選の直後知られた黒い金 瀧尻 善英  
 終電にすべり込んだが事故不通 佐藤まさあき  
 【秀逸】 金メダル剥奪されたドーピング 瀧尻 善英  
 宝くじ当たった筈が組違い 佐藤まさあき  
 【特選】 昇進の話 ビールの泡と消え 瀧尻 善英

## ■席題 『ぬか喜び』 瀧尻 善英 選

【平抜き】 思い切り夢を描いたジャンボくじ 村上 昌子  
 終電にすべり込んだが事故不通 佐藤まさあき  
 先読めぬか喜びに腰抜かし 斉藤 蛙井  
 風呂入り体重少し減っている 久保あざみ  
 特殊詐欺成功したか いや御用 福田 芳記  
 岸田さん支持率アップすぐダウン 福田 芳記  
 宝くじ当たった筈が組違い 佐藤まさあき  
 終了の笛がなるまで油断なく 高田 幸柳  
 【秀逸】 勝ち急ぐ油断が招く凡ミスへ 高田 幸柳  
 株上がる欲出し売らず急降下 福田 芳記  
 【特選】 早とちりバンザイの手が宙に舞う 高田 幸柳  
 ■宿題 『布』 村上 昌子 選  
 【平抜き】 キャッシュレス時代財布が寂しがら 城後 朱美  
 八起き目の穴にユニコのアップリケ 磯島 雅男  
 スカスカな財布に僕の骨密度 瀧尻 善英  
 浴衣地を祖母が選つてる優しい瞳 佐藤まさあき  
 裁断の布の音から聴く不満 木村奈生美

我が友は古布再生の道作る 久保あざみ  
 朝顔に白布のように舞うチョウチョ 斉藤 蛙井  
 塩昆布君もスターになれるはず 高田 幸柳  
 介護士の方にも欲しい温湿布 瀧尻 善英  
 終戦後着ている服は継ぎだらけ 福田 芳記  
 雑巾を絞り出すよに軍費増え 斉藤 蛙井  
 【秀逸】 万札を布団に敷いて寝てみたい 瀧尻 善英  
 布団全部干して外出するなんて 城後 朱美  
 【特選】 ウクライナ国旗掲げた乳母車 高田 幸柳

## ■宿題 『塗る』 佐藤まさあき 選

【平抜き】 ペンキ塗りたてそこから恋が始まった 城後 朱美  
 七光り塗り固めてバツジつけ 斉藤 蛙井  
 蚊と舐めかゆみ止め塗る草むしり 福田 芳記  
 黒塗りのコピーばかりの不信感 村上 昌子  
 祭りの日芸者のような厚化粧 村上 昌子  
 ベテランの仕上げが見せるコテの跡 福田 芳記  
 傷口へ甘い言葉を塗る詐欺師 瀧尻 善英  
 愛されぬ踵クリーム塗り忘れ 城後 朱美  
 画用紙を真っ黒く塗る引き籠もり 木村奈生美

好きな人出来て背伸びのルージュ引く 磯島 雅男  
 ジャム&バターたっぷり塗って朝が来る 城後 朱美  
 【秀逸】 のんのんと雪塗りつぶす北の街 斉藤 蛙井  
 空に塗る一番似合う色は青 木村奈生美  
 【特選】 自分史に塗り潰したい箇所がある 木村奈生美  
 ■宿題 『縫う』 互選  
 ①介護食慣れた頃にはもう居ない 磯島 雅男  
 ②ちゃんちゃんこ縫いの故母を想い出す 斉藤 蛙井  
 ③婆ちゃんの縫う雑巾はクラス一 佐藤まさあき  
 ③縫い付けたポッケは祖母の知恵袋 村上 昌子  
 ③長雨へゆつくり堪忍袋縫う 瀧尻 善英  
 ④つぎはぎを恥じることなく前を向き 高田 幸柳

### ◆十和田たてがみ川柳会九月句会案内◆

【時】 9月16日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働福祉会館 【宿題】 (各題三句詠) 『脳』久保あざみ選 / 『農業』 斉藤蛙井選 【互選】 (一句詠) 『濃厚』 当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】 一題(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】 〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛

町ビル2階、東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛てにお送りください。問い合わせは同文化財団（電話017・718・5115、平日午前9時から午後5時）へ。／◇締め切り 9月19日（火）当日消印有効。直接持参する場合は午前9時から午後5時に東奥日報新町ビル2階へお越しください。（土日祝も可）／◇席題 当日2題を出題（各題1人2句）。選者は2題のうち一方が山野茶花子、佐藤ぶんじの2氏、もう一方が沢田百合子、岩崎雪洲の2氏による共同選。／◇賞 当日の出席者を対象に採点し、総合1位に県知事賞、2位に県議会議長賞、3位に県教育長賞、ほか20位までの上位入賞者に賞品を贈ります。優秀作品は東奥日報紙上と東奥日報文化財団ホームページに掲載します。※懇親会はありません。

<https://www.toonippo.co.jp/feature/z-bunka>

□ **2023.10.28 秋のブレンド句会**

【日時】2023年10月28日（土）11時30分開場 / 席題出句締切午後1時【会場】仙台ガーデンパレス鳳凰の間（仙台駅東口徒歩3分）Tel 022-299-6211 仙台市宮城野区榴岡4-1-5【会費】7,500円（懇親会費込み・発表誌呈）遅めのお昼になりますが、お昼の食事をしないでいらしてください。【開会】午後2時（句会終了午後5時）【事前投句】（参加者のみ）各題2句詠 / 投句締切り2023年9月15日必着 / 広瀬ちえみ迄 981-3213 仙台市泉区南中山2-7-5 Tel/Fax 022-379-4670 メールアドレス [hirose-chie@jcom.home.ne.jp](mailto:hirose-chie@jcom.home.ne.jp) 投句の際は氏名ふりがな、住所、電話を明記してください。『大』広瀬ちえみ（宮城県）・出席者共選 / 『What』妹尾凜（秋田県）・出席者共選 / 『こう』野沢省悟（青森県）・出席者共選 \* 題は漢字、カナ捉え方自由 / 『晴』樋口由紀子（兵庫県）・出席者共選【席題】（印象吟）2句詠出席者・出席者共選【幹事】野沢省悟・樋口由紀子・広瀬ちえみ

句会、大会、誌上句会などの情報をお寄せください。

[info@okajoki.com](mailto:info@okajoki.com)

※メール本文にベタ打ちでも構いません。

テキストデータで送っていただくと助かります。

□ **2023.10.01 第41回東北川柳連盟 弘前大会**

【日時】2023年10月1日（日）午前9時受付・席題発表10時・出句締切11時・大会開会12時半【会場】RAGLEY（ラグリー）弘前市大字野田1丁目4-1 ☎0172-36-2277（弘前駅徒歩30分）【会費】3,000円（昼食・発表誌）\*懇親会はありません【宿題・選者】（2句詠・共選・投句拝辞）『モンスター』長谷川酔月（秋田県）・守田啓子（三沢市） / 『銀』片倉卯月（山形県）・瀧尻善英（八戸市） / 『ハッピー』駒木香苑（福島県）・野沢省悟（青森市） / 『眼』雫石隆子（宮城県）・千島鉄男（弘前市） / 『ストーリー』熊谷岳朗（岩手県）・滋野さち（青森市）【席題・選者】（2句詠・3人選）『印象吟』（当日参加者に依頼）【賞】各特選賞 東北川柳連盟大賞（席題の特選から二次選者・熊谷岳朗） / 各県川柳連盟大賞（宿題の各県川柳連盟理事長、会長の特選） / 青森県川柳連盟大賞（宿題の県人選者の特選から二次選者・高瀬霜石）【理事会・前夜祭】RAGLEY（ラグリー）★理事会9月30日（土）午後3:30より ★前夜祭9月30日（土）午後5:00より 会費¥5,000★宿泊9月30日（土）一泊朝食付きシングル¥6,000弘前東栄ホテル（弘前市土手町166 ☎0172-33-8111）\*注意！ホテルは大会場（理事会・前夜祭）と違います★前夜祭の申込先 青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 〒038-3288 つがる市木造出来島33 ☎080-5574-9297（宿泊は極力、各自でお願いします。10/1はアップルマラソンがあるのでお早めに）【主催】東北川柳連盟・青森県川柳連盟【後援】弘前市・東奥日報文化財団・陸奥新報社・FMアップルウェーブ

□ **2023.10.22 第77回青森県川柳大会**

日時 10月22日（日）午前10時から / 会場 東奥日報新町ビル3階 New'sホール（青森市新町2丁目 / 会費 3千円（昼食代含む）、高校生以下無料（昼食付き） / 特別選 「軽」（1人2句）芳賀博子選 / 宿題 各題1人2句 / 「迷う」三浦蒼鬼、野沢省悟の2氏共同選 / 「ショック」笹田かなえ、千島鉄男の2氏共同選 / 「むずむず」熊谷冬鼓、田鎖晴天の2氏共同選 / 「待つ」むさし、田沢恒坊の2氏共同選 / ◇投稿 作品は全て未発表に限ります。応募用紙は8月16日正午から、東奥日報文化財団ホームページからダウンロードできます。または、ハガキ大の紙5枚を使用し、それぞれの用紙の右上に特別選、宿題と朱書きした上で、各題2句ずつ必ず楷書で書いてください。新旧仮名遣いは問いません。いずれか1枚の裏面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号を明記（学生の場合は学校名、学年も）。大会会費（郵便小為替）を同封し、郵便番号030-0801、青森市新町2の2の11、東奥日報新

■会費拝受【7月受付分】

越田清四郎（東京都） / 野口三代子（愛媛県） / 豊澤かな江・村上あつこ（以上青森市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

（〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2）

終着駅 Sin

◆バスケットW杯。日本はグループ予選で敗退したのにも関わらず、その後の順位決定戦で、アジア1位の座を賭けた戦いに日本中が興奮した。スラムダンク世代の私にとって、バスケットボールはNBA、いわゆるアメリカの独壇場と思いきや、野球のWBCのように高額契約の選手は怪我などを恐れて、所属チームのために、出場を辞退することが多く、世界ランキングはヨーロッパ勢が上位を占める構図となっている。（それでもアメリカは強い）日本代表でも同様で、エースの八村塁はロサンゼルス・レイカーズとの契約更新したため、チームを優先せざるを得なかった。レイカーズといえば、NBAの中でも優勝回数最多を誇る名門中の名門。野球でいうところのヤンキースと高額契約を結ぶようなもので、今後、そのような日本人が現れるかどうかさえもわからない契約だったため、それを優先するのには誰も文句はい

えなかった。はずなのだが、パリオリンピック出場を決めた際に、八村塁が「オリンピックに出たい」と発言したことに、「何を今更」と裏切り者扱いするような意見が出始めた。想像でしかないが、契約事項にW杯の参加辞退が含まれているかもしれないし、1年後のパリオリンピックは出場出来ると盛り込まれているかもしれない。そういう細かい契約社会であるアメリカの事情も鑑みず、このメンバーで勝ち取った権利なんだからと日本特有の非合理的なお仲間論をふりかざす人々には辟易する。どうせ、八村塁がオリンピックで大活躍したら手のひら返して、「やっぱりすごい選手」とか言うんだろう(笑) トム・ホーバスHCのバスケットに八村がマッチするかどうかかわからないが、八村、渡邊、ホーキンソン、河村、そして富永が1年後、どのような戦いを見せてくれるか、とても楽しみである。さて、次はラグビーだ！◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2023.09.13 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」 9月句会

【投句締切】9月13日（第2水曜日）【題・投句数】『振る』2句【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかじょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。

□ 2023.09.16 「川柳吟行会 ぼ」 吟行会

【吟行日時】9月16日（土）【吟行先】青森県立美術館（Tel017-783-3000）「生誕120年棟方志功展」観覧料1800円【合評会】青森駅前アウガ5階小会議室16時～19時（投句締切り16時半、出句数2～3句、参加費100円）【青森市営バス利用の場合】青森駅前⑥番のりば12:37発、美術館前下車（片道280円）。吟行後14:55県美発で青森駅に戻り合評会場へ。（冬鼓同行します）【問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*当日の吟行が不都合な方は別の日に個人で吟行し9/16の合評会に参加も可能です。会員以外でも参加可。合評会参加希望は9/10まで冬鼓へ。

□ 2023.09.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（11月号分）

【締切】9月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】11/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2023.10.07 おかじょうき川柳社本社 10月句会

【時】10月7日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】10月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『敷く』/『化』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『動物』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/toku/【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子）



2023年9月10日発行(年12回発行) 第27巻9号通巻354号  
 ●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風  
 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田中師宮本2の3 ●E-Mail:info@okajoki.com

第28回

# 杉野十佐一賞 作品募集

課題/締切

## 「雨」(2句詠) / 2023.9.30 ✕

選者

徳永政二 (滋賀県/「びわこ香川柳会」所属)  
 なかはられいこ (岐阜県/「ねじまき句会」所属)  
 樋口由紀子 (兵庫県/「晴」編集発行人)  
 広瀬ちえみ (宮城県/「What's」編集発行人)  
 雨森茂喜 (大阪府/第27回杉野十佐一賞大賞受賞者)  
 むさし (青森県/おかじょうき川柳社代表)

投句料

1,000円 (発表費をもって投句料割引したものとさせていただきます/締め切り日まで投句料納入金されぬ場合のみ作品を受け付けます)

応募方法 ※郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<https://forma.gle/iAX2fZR8vFG37iyc8> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。



又この本を贈呈させていただきます。

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第28回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス(守田香子宛): moriko@okajoki.com >  
 送信後、下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

振込先: 郵便局 No.02280-8-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2024年1月号の誌上において発表。  
 サイト掲載: 2024年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

本作品は応募者の自作で未発表のものに限り、応募された原稿に関するお問い合わせ、審査結果の問い合わせには応じられません。本人帰属については、許可なく他の目的で使用することはありません。